

# 競 技 注 意 事 項

本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

## 1 練習について

練習は、メイン競技場、補助競技場および雨天練習場を原則とする。ただし、中四国パラ陸上が開催されている関係でパラ陸上参加者を優先とするので各練習会場の利用方法確認すること。

### ①メイン競技場

利用は認めない。

### ②補助競技場

使用については、中四国パラ陸上参加者を優先とし、13時からU18・U16出場選手のみ利用を認める。安全に注意して使用すること。利用者の安全を確保するために下記の内容を守ること。

※1：大きな声を出すこと。集団で練習することは、他の競技者の迷惑になるため控えること。

※2：ハードルを使用しての練習は太文字の時間からしかできない。

※3：参加選手以外は利用できない。

ア. レーンの使用については14時15分以降から以下の通り利用ができる。

・1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。

・3～4レーンは短距離練習のみ使用可とする。

・ブロックを使用してのスタート練習は多目的広場側直走路6～10レーンのみとする。

直線のハードル種目については、16時から使用できる。

・多目的広場側直走路8・9レーンは女子100mH、10・11レーンは男子110mHとする。

・男女300mHは14時からハードル練習を行うことができる。第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路の5レーンは女子、6レーンは男子とする。

イ. 道具（マーカー、ミニハードル、ラダー等）を使用した練習は禁止。

ウ. 投てき競技（砲丸投のみ）の練習はトラック外側の砲丸投ピットで行うことができる。その際、係員の指示によって行う。

### ③雨天練習場

・使用については14時30分以降から利用できる。

・雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。

・雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。

・シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。

・ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。以外は、補助競技場で行うこと。

・ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。

・ハードルは使用できない。

### ④棒高跳について

競技開始80分前から現地にて跳躍練習を行うことができる。ただし、他の競技に影響がないように、審判員の指示に従うこと。

### ⑤投てき練習

円盤投、ジャベリックスローは、競技開始70分前からメイン競技場で練習ができる。

- 2 スパイクシューズの制限について  
全天候競技場であるため、スパイクの長さは9 mm以下とする。
- 3 アスリートビブスについて
  - ①アスリートビブスは指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。
  - ②トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの右横やや後方につけること。
- 4 選手招集について
  - ①選手招集場所は第2ゲート付近とする。
  - ②招集時刻は競技時間を確認すること。  
※1：棒高跳、円盤投、ジャベリックスローは、現地で招集を行う。  
※2：参加人数の多い種目については、段階的に招集を行うので、競技時間に記載している招集開始時刻、招集完了時刻を確認すること。
  - ③招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
  - ④2種目を同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出る。
- 5 競技について
  - ①競技順は、プログラム記載の番号順とする。
  - ②その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
  - ③短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
  - ④トラック競技は、すべてタイムレース決勝とする。（電気時計1/1000）まで読み取り着差の判定をする。
  - ⑤フィールド種目は予選試技を2回行い、TOP8を決定、さらに2回の試技を与える。
  - ⑥レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
  - ⑦トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。
  - ⑧競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
  - ⑨選手は、携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技エリア内に持ち込むことはできない。コーチエリア付近（エリア指定あり）で選手に手渡して映像を見せることができる。選手が指定エリア外に機器等を持ち込むことはできない。なお、メインスタンドから撮影機器を手渡しすることは禁止とする。コーチエリアでのコミュニケーションが終了したら、速やかにコーチエリアから出ること。
- 6 競技用具について
  - ①競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。
  - ②練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいならない。
- 7 競技場への入退場について  
種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。
  - 第1ゲート：第1コーナー付近からスタートするトラック競技
  - 第2ゲート：第2コーナー付近からスタートするトラック競技および投てき競技
  - 第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技
  - 第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技

## 8 その他

- ①やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- ②応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。
- ③更衣室については、大会受付後方スタンド内通路を入れて右側にあるので利用してもよい。
- ④記録は、記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示します。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行いません。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できます。